

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鳥取県立中部療育園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年1月21日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者ニーズに沿って活動内容を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの個々の発達課題や年齢に応じたアプローチを行っている。 ・保育士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、児童指導員、看護師、医師が連携することで専門性を活かした支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発達状態をアセスメントし、ミーティング等で各職種で気づきを話し合いながら、さらに個々にあった活動内容を検討していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイ事業所や学校等の関係機関と支援内容等の情報を提供し連携している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を介した情報提供もあるが、職員が学校に出向いたり、教諭も同行していただき情報共有している。 ・移行支援会議の他、利用する放課後等デイサービス及び訪問看護リハビリテーション事業所等とも支援内容の確認、共有をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の情報共有方法を継続しながら、関係機関のニーズ把握も綿密に行い、利用者ニーズに適時対応できるように連携していく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもが自己選択できるような工夫や、自己決定を育てるための支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・重心児の対応のため、保護者の声も参照して、できるだけ自己決定に近い形を促している。自己選択や決定を促すため個別意向の汲み取りに工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的に利用者が選択できない場合は保護者のみならず学校や各機関の担当等の意見も取り入れていく。 ・引き続き子どもたちの発達状態をアセスメントし、意思伝達の表出方法の工夫、汲み取りのあり方を検討していく。 ・スイッチの利用等、利用児の意欲を引き出すような活動を提供する。
2	地域交流の機会提供の活動が行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童が、地域の支援学校に在籍し、利用されている放課後等デイサービス事業所での行事等もあり、地域の交流が随時行われているため、当園へのニーズは少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに沿っての活動内容を考えていくことは継続しながら、関係機関と情報共有して当園での提供できる地域交流について検討していく。
3			